

平成 21 年 8 月 11 日

各 位

会 社 名 ヤスハラケミカル株式会社
代表者名 代表取締役社長 安原 禎二
(コード番号 4957 東証第二部)
問合せ先 経営企画室長 池庄司 敬和
(TEL 0847-45-3530)

(訂正・数値データあり) 平成 22 年 3 月期 第 1 四半期決算短信 (非連結)

平成 21 年 7 月 27 日 16 時 00 分に発表した標記開示資料について訂正がありましたのでお知らせいたします。また、数値データにも訂正がありましたのであわせてお知らせいたします。

なお、訂正箇所には下線を付しております。

【訂正の理由】

平成 21 年 7 月 27 日公表の「特別損失の計上、業績予想の修正に関するお知らせ」において、環境対策費用約 81 百万円を特別損失として第 2 四半期会計期間(平成 21 年 7 月 1 日から平成 21 年 9 月 30 日まで)に計上する予定でありましたが、その後の監査法人との協議の結果、第 1 四半期会計期間(平成 21 年 4 月 1 日から平成 21 年 6 月 30 日まで)に計上することが妥当であると判断し、今回訂正いたします。

なお、業績予想につきましては、平成 22 年 3 月期第 2 四半期累計期間及び平成 22 年 3 月期通期ともに変更はありません。

【訂正箇所】

1. 1 ページ 1. 平成22年3月期第1四半期の業績（平成21年4月1日～平成21年6月30日）

（訂正前）

(1) 経営成績（累計）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	2,361	△18.3	65	△55.2	62	△65.3	33	△68.6
21年3月期第1四半期	2,889	—	146	—	181	—	107	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円銭	円銭
22年3月期第1四半期	<u>3.18</u>	—
21年3月期第1四半期	10.12	—

（訂正後）

(1) 経営成績（累計）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	2,361	△18.3	65	△55.2	62	△65.3	<u>△14</u>	—
21年3月期第1四半期	2,889	—	146	—	181	—	107	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円銭	円銭
22年3月期第1四半期	<u>△1.37</u>	—
21年3月期第1四半期	10.12	—

(訂正前)

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	<u>18,988</u>	<u>14,991</u>	<u>78.9</u>	<u>1,408.49</u>
21年3月期	18,869	14,990	79.4	1,408.40

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 14,991百万円 21年3月期 14,990百万円

(訂正後)

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	<u>19,020</u>	<u>14,943</u>	<u>78.6</u>	<u>1,403.94</u>
21年3月期	18,869	14,990	79.4	1,408.40

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 14,943百万円 21年3月期 14,990百万円

2. 3ページ 定性的情報・財務諸表等

(訂正前)

1. 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期会計期間におけるわが国経済は、昨年秋以降の世界的な金融危機の影響により企業の収益は大幅に悪化し、設備投資も大幅に減少いたしました。また、雇用情勢・所得環境が厳しさを増す中で、個人消費は弱まり、多くの業界・業種にわたって厳しい状況で推移いたしました。

～省略～

以上の結果、当第1四半期会計期間における業績は、売上高2,361百万円（前年同期比81.7%）、経常利益は62百万円（前年同期比34.7%）となりました。四半期純利益は、33百万円（前年同期比31.4%）となりました。

(訂正後)

1. 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期会計期間におけるわが国経済は、昨年秋以降の世界的な金融危機の影響により企業の収益は大幅に悪化し、設備投資も大幅に減少いたしました。また、雇用情勢・所得環境が厳しさを増す中で、個人消費は弱まり、多くの業界・業種にわたって厳しい状況で推移いたしました。

～省略～

以上の結果、当第1四半期会計期間における業績は、売上高2,361百万円（前年同期比81.7%）、経常利益は62百万円（前年同期比34.7%）となりました。四半期純損失は、14百万円（前年同期は四半期純利益107百万円）となりました。

(訂正前)

2. 財政状態に関する定性的情報

(1) 財政状態

総資産は 18,988 百万円となり前事業年度末に比べ 118 百万円の増加となりました。その主な要因は、前渡金 282 百万円減少、商品及び製品 199 百万円減少、仕掛品 90 百万円減少等がありましたが、原材料及び貯蔵品 311 百万円、現金及び預金 168 百万円、受取手形及び売掛金 114 百万円等それぞれ増加したためであります。

負債は 3,996 百万円となり前事業年度末に比べ 117 百万円の増加となりました。その主な要因は、賞与引当金 128 百万円減少、未払消費税 61 百万円減少等ありましたが、未払金が 234 百万円、買掛金 64 百万円等それぞれ増加したためであります。

純資産は 14,991 百万円となり前事業年度末に比べ 1 百万円の増加となりました。その主な要因は、株主資本 30 百万円の減少がありましたが、その他有価証券評価差額金が 30 百万円増加し、ほぼ前事業年度なみとなりました。

(2) キャッシュ・フロー

当第 1 四半期会計期間末の現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は 2,408 百万円となり、前事業年度末と比べ 168 百万円の増加となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは 424 百万円の収入となりました。その主な要因は、売上債権の増加 114 百万円、たな卸資産の増加 21 百万円及び仕入債務の増加 64 百万円等の支出がありましたが、税引前四半期純利益 62 百万円、減価償却費 173 百万円及び前渡金の減少 282 百万円等の収入によるものであります。

以下省略

(訂正後)

2. 財政状態に関する定性的情報

(1) 財政状態

総資産は 19,020 百万円となり前事業年度末に比べ 151 百万円の増加となりました。その主な要因は、前渡金 282 百万円減少、商品及び製品 199 百万円減少、仕掛品 90 百万円減少等がありましたが、原材料及び貯蔵品 311 百万円、現金及び預金 168 百万円、受取手形及び売掛金 114 百万円等それぞれ増加したためであります。

負債は 4,077 百万円となり前事業年度末に比べ 198 百万円の増加となりました。その主な要因は、賞与引当金 128 百万円減少、未払消費税 61 百万円減少等ありましたが、未払金が 315 百万円、買掛金 64 百万円等それぞれ増加したためであります。

純資産は 14,943 百万円となり前事業年度末に比べ 47 百万円の減少となりました。その主な要因は、その他有価証券評価差額金 30 百万円の増加がありましたが、株主資本が 78 百万円減少したためであります。

(2) キャッシュ・フロー

当第1四半期会計期間末の現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、2,408百万円となり、前事業年度末と比べ168百万円の増加となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは424百万円の収入となりました。その主な要因は、売上債権の増加114百万円、たな卸資産の増加21百万円、仕入債務の増加64百万円等の支出及び税引前四半期純損失18百万円ありましたが、減価償却費173百万円及び前渡金の減少282百万円等の収入によるものであります。

以下省略

3. 5 ページ 5. 四半期財務諸表

(訂正前)

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成21年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
～省略～	～省略～	～省略～
繰延税金資産	87,362	81,961
その他	181,137	383,742
貸倒引当金	△2,310	△2,310
流動資産合計	<u>11,037,837</u>	10,930,008
固定資産		
～省略～	～省略～	～省略～
資産合計	<u>18,988,071</u>	18,869,453
負債の部		
流動負債		
～省略～	～省略～	～省略～
その他	607,453	423,735
流動負債合計	<u>3,283,976</u>	3,137,157
固定負債		
～省略～	～省略～	～省略～
負債合計	<u>3,996,433</u>	3,878,715
純資産の部		
株主資本		
～省略～	～省略～	～省略～
利益剰余金	11,560,634	11,590,631
自己株式	△137,364	△137,318
株主資本合計	<u>14,941,850</u>	14,971,894
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	49,787	18,844
評価・換算差額等合計	49,787	18,844
純資産合計	<u>14,991,637</u>	14,990,738
負債純資産合計	<u>18,988,071</u>	18,869,453

(訂正後)

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成21年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
～省略～	～省略～	～省略～
繰延税金資産	120,195	81,961
その他	181,137	383,742
貸倒引当金	△2,310	△2,310
流動資産合計	11,070,670	10,930,008
固定資産		
～省略～	～省略～	～省略～
資産合計	19,020,904	18,869,453
負債の部		
流動負債		
～省略～	～省略～	～省略～
その他	688,723	423,735
流動負債合計	3,365,246	3,137,157
固定負債		
～省略～	～省略～	～省略～
負債合計	4,077,703	3,878,715
純資産の部		
株主資本		
～省略～	～省略～	～省略～
利益剰余金	11,512,197	11,590,631
自己株式	△137,364	△137,318
株主資本合計	14,893,413	14,971,894
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	49,787	18,844
評価・換算差額等合計	49,787	18,844
純資産合計	14,943,200	14,990,738
負債純資産合計	19,020,904	18,869,453

(訂正前)

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	2,889,435	2,361,546
売上原価	2,204,888	1,850,018
売上総利益	684,547	511,527
販売費及び一般管理費	537,977	445,836
営業利益	146,569	65,691
営業外収益		
受取利息	1,178	710
受取配当金	4,182	4,090
為替差益	35,637	—
その他	8,043	6,562
営業外収益合計	49,042	11,363
営業外費用		
支払利息	9,187	6,873
為替差損	—	3,842
手形売却損	3,583	1,620
その他	1,421	1,762
営業外費用合計	14,192	14,098
経常利益	181,419	62,956
特別損失		
固定資産処分損	40	—
特別損失合計	40	—
税引前四半期純利益	181,379	62,956
法人税、住民税及び事業税	27,112	32,267
法人税等調整額	46,532	△3,175
法人税等合計	73,645	29,091
四半期純利益	107,734	33,865

(訂正後)

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	2,889,435	2,361,546
売上原価	2,204,888	1,850,018
売上総利益	684,547	511,527
販売費及び一般管理費	537,977	445,836
営業利益	146,569	65,691
営業外収益		
受取利息	1,178	710
受取配当金	4,182	4,090
為替差益	35,637	—
その他	8,043	6,562
営業外収益合計	49,042	11,363
営業外費用		
支払利息	9,187	6,873
為替差損	—	3,842
手形売却損	3,583	1,620
その他	1,421	1,762
営業外費用合計	14,192	14,098
経常利益	181,419	62,956
特別損失		
固定資産処分損	40	—
環境対策費	—	81,270
特別損失合計	40	81,270
税引前四半期純利益又は税引前 四半期純損失(△)	181,379	△18,313
法人税、住民税及び事業税	27,112	32,267
法人税等調整額	46,532	△36,009
法人税等合計	73,645	△3,741
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	107,734	△14,571

(訂正前)

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	181,379	62,956
減価償却費	222,477	173,291
～省略～	～省略～	～省略～
その他	370,355	259,367
小計	1,074,178	429,196

以下省略

(訂正後)

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引 前四半期純損失(△)	181,379	△18,313
減価償却費	222,477	173,291
～省略～	～省略～	～省略～
その他	370,355	340,637
小計	1,074,178	429,196

以下省略

以上

平成22年3月期 第1四半期決算短信(非連結)

平成21年7月27日

上場会社名 ヤスハラケミカル株式会社
 コード番号 4957 URL <http://www.yschem.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室長
 四半期報告書提出予定日 平成21年8月11日
 配当支払開始予定日 —

上場取引所 東

(氏名) 安原 禎二
 (氏名) 池庄司 敬和

TEL 0847-45-3530

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第1四半期の業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	2,361	△18.3	65	△55.2	62	△65.3	△14	—
21年3月期第1四半期	2,889	—	146	—	181	—	107	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	△1.37	—
21年3月期第1四半期	10.12	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	19,020	14,943	78.6	1,403.94
21年3月期	18,869	14,990	79.4	1,408.40

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 14,943百万円 21年3月期 14,990百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	6.00	—	6.00	12.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期(予想)	—	6.00	—	6.00	12.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期累計期間	4,563	△23.2	84	△61.9	94	△54.7	4	△96.5	0.41
通期	9,385	△8.5	297	5.0	299	53.9	126	△20.2	11.88

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表】4. その他をご覧ください。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第1四半期	10,839,663株	21年3月期	10,839,663株
② 期末自己株式数	22年3月期第1四半期	195,916株	21年3月期	195,844株
③ 期中平均株式数(四半期累計期間)	22年3月期第1四半期	10,643,758株	21年3月期第1四半期	10,644,491株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、3ページ【定性的情報・財務諸表等】「3. 業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期会計期間におけるわが国経済は、昨年秋以降の世界的な金融危機の影響により企業の収益は大幅に悪化し、設備投資も大幅に減少いたしました。また、雇用情勢・所得環境が厳しさを増す中で、個人消費は弱まり、多くの業界・業種にわたって厳しい状況で推移いたしました。

当社が関係しております粘着・接着・香料・ラミネート業界におきましても、一部の在庫調整の進んだ企業では通常の生産に戻りつつありますが、依然として需要は低迷し、厳しい事業環境となりました。

このような経済情勢のなかで、当社といたしましては、時代の変化と顧客ニーズを的確に把握し、新製品の開発・新規用途の開拓並びに販売強化に努めるとともに、製造原価低減を目的とした在庫削減、徹底した経費削減、一層の業務合理化を行い、収益力の回復に注力してまいりました。

以上の結果、当第1四半期会計期間における業績は、売上高2,361百万円（前年同期比81.7%）、経常利益は62百万円（前年同期比34.7%）となりました。四半期純損失は、14百万円（前年同期は四半期純利益107百万円）となりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

(1) 財政状態

総資産は19,020百万円となり前事業年度末に比べ151百万円の増加となりました。その主な要因は、前渡金282百万円減少、商品及び製品199百万円減少、仕掛品90百万円減少等がありましたが、原材料及び貯蔵品311百万円、現金及び預金168百万円、受取手形及び売掛金114百万円等それぞれ増加したためであります。

負債は4,077百万円となり前事業年度末に比べ198百万円の増加となりました。その主な要因は、賞与引当金128百万円減少、未払消費税61百万円減少等ありましたが、未払金が315百万円、買掛金64百万円等それぞれ増加したためであります。

純資産は14,943百万円となり前事業年度末に比べ47百万円の減少となりました。その主な要因は、その他有価証券評価差額金30百万円の増加がありましたが、株主資本が78百万円減少したためであります。

(2) キャッシュ・フロー

当第1四半期会計期間末の現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は2,408百万円となり、前事業年度末と比べ168百万円の増加となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは424百万円の収入となりました。その主な要因は、売上債権の増加114百万円、たな卸資産の増加21百万円、仕入債務の増加64百万円等の支出及び税引前四半期純損失18百万円ありましたが、減価償却費173百万円及び前渡金の減少282百万円等の収入によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは155百万円の支出となりました。その主な要因は、固定資産の取得による支出154百万円等であります。

財務活動によるキャッシュ・フローは96百万円の支出となりました。その主な要因は、長期借入金の返済による支出37百万円及び配当金の支払いによる支出59百万円等であります。

5. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成21年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,311,264	2,142,574
受取手形及び売掛金	2,429,086	2,314,633
有価証券	345,737	345,581
商品及び製品	1,306,938	1,506,461
仕掛品	580,097	670,382
原材料及び貯蔵品	3,798,523	3,486,981
繰延税金資産	120,195	81,961
その他	181,137	383,742
貸倒引当金	△2,310	△2,310
流動資産合計	11,070,670	10,930,008
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,049,187	1,061,140
機械及び装置(純額)	1,373,475	1,478,803
土地	3,751,581	3,751,581
その他(純額)	1,040,886	942,052
有形固定資産合計	7,215,131	7,233,577
無形固定資産	22,520	23,661
投資その他の資産		
投資有価証券	515,297	462,678
繰延税金資産	157,293	180,493
その他	53,809	52,852
貸倒引当金	△13,816	△13,816
投資その他の資産合計	712,582	682,206
固定資産合計	7,950,234	7,939,445
資産合計	19,020,904	18,869,453
負債の部		
流動負債		
買掛金	468,889	404,432
短期借入金	2,139,196	2,141,696
未払法人税等	39,599	10,332
賞与引当金	28,838	156,961
その他	688,723	423,735
流動負債合計	3,365,246	3,137,157
固定負債		
長期借入金	247,680	282,479
退職給付引当金	192,367	189,572
役員退職慰労引当金	271,959	269,056

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成21年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
その他	450	450
固定負債合計	712,456	741,558
負債合計	4,077,703	3,878,715
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,789,567	1,789,567
資本剰余金	1,729,013	1,729,013
利益剰余金	11,512,197	11,590,631
自己株式	△137,364	△137,318
株主資本合計	14,893,413	14,971,894
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	49,787	18,844
評価・換算差額等合計	49,787	18,844
純資産合計	14,943,200	14,990,738
負債純資産合計	19,020,904	18,869,453

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)
売上高	2,889,435	2,361,546
売上原価	2,204,888	1,850,018
売上総利益	684,547	511,527
販売費及び一般管理費	537,977	445,836
営業利益	146,569	65,691
営業外収益		
受取利息	1,178	710
受取配当金	4,182	4,090
為替差益	35,637	—
その他	8,043	6,562
営業外収益合計	49,042	11,363
営業外費用		
支払利息	9,187	6,873
為替差損	—	3,842
手形売却損	3,583	1,620
その他	1,421	1,762
営業外費用合計	14,192	14,098
経常利益	181,419	62,956
特別損失		
固定資産処分損	40	—
環境対策費	—	81,270
特別損失合計	40	81,270
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	181,379	△18,313
法人税、住民税及び事業税	27,112	32,267
法人税等調整額	46,532	△36,009
法人税等合計	73,645	△3,741
四半期純利益又は四半期純損失(△)	107,734	△14,571

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	181,379	△18,313
減価償却費	222,477	173,291
受取利息及び受取配当金	△5,360	△4,800
支払利息	9,187	6,873
為替差損益 (△は益)	△22,684	3,236
売上債権の増減額 (△は増加)	61,996	△114,452
たな卸資産の増減額 (△は増加)	290,396	△21,734
仕入債務の増減額 (△は減少)	△33,569	64,457
その他	370,355	340,637
小計	1,074,178	429,196
利息及び配当金の受取額	5,270	4,795
利息の支払額	△7,760	△6,836
法人税等の支払額	△15,030	△3,000
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,056,658	424,154
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△152,365	△52,492
定期預金の払戻による収入	152,288	52,416
有価証券の取得による支出	△9,685	△9,725
有価証券の売却による収入	9,655	9,685
有形固定資産の取得による支出	△69,824	△154,591
投資有価証券の取得による支出	△666	△701
投資活動によるキャッシュ・フロー	△70,597	△155,410
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	△100,000	—
長期借入金の返済による支出	△37,299	△37,299
自己株式の取得による支出	△183	△45
配当金の支払額	△59,146	△59,433
財務活動によるキャッシュ・フロー	△196,629	△96,778
現金及び現金同等物に係る換算差額	22,684	△3,236
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	812,116	168,728
現金及び現金同等物の期首残高	2,015,890	2,239,730
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,828,006	2,408,459